H.　年間事業計画

内　容

○　推進協議会の開催等を経て把握された、地域の現状・課題及びこれに関する対応方針を踏まえ、市町村における事業計画を策定する。

目　的

○　在宅医療・介護連携は、市町村当局に加え、医師、歯科医師等の医療関係職種、ケアマネジャー、介護事業者等数多くの主体が関わる事業であり、推進協議会における検討や合意の集大成(実施・検討事項、スケジュール、役割分担等)を可視化し、進捗管理ができるようにしておくことが重要である。

留意点

○　解決策から具体的な在宅医療・介護連携推進に関する事業計画を策定し、一定期間において実施する事業の内容や、関係主体間の役割分担を明確にする。

○　事業計画に盛り込むべき事項は、推進協議会の場で検討することとなるが、例えば以下のような事項が考えられる。

A～H の事項及びこれら以外に当該地域で取り組む事項それぞれについて

① 実施内容について検討するものについては、検討委員会等の構成や検討スケジュールなど

② 実施するものについては、回数や時期、役割分担など

○　策定した事業計画は、推進状況を確認し、見直しを図り、さらに推進するというサイクルを経るべきことは当然であり、特に多職種の参加が不可欠な本事業においてはその必要性は高い。

○　また、本事業の質と効果を評価する指標について、あらかじめ検討する必要がある。

具体的には、在宅医療・介護連携の体制(構造)、支援内容(過程)などがある。また、その効果(結果)として、市町村と地域の医師会との協働による「在宅医療に参画するかかりつけ医師数」や、高齢者が最期まで住み慣れた地域で暮らすための体制と支援による「在宅看取り率(数)」などが挙げられる。

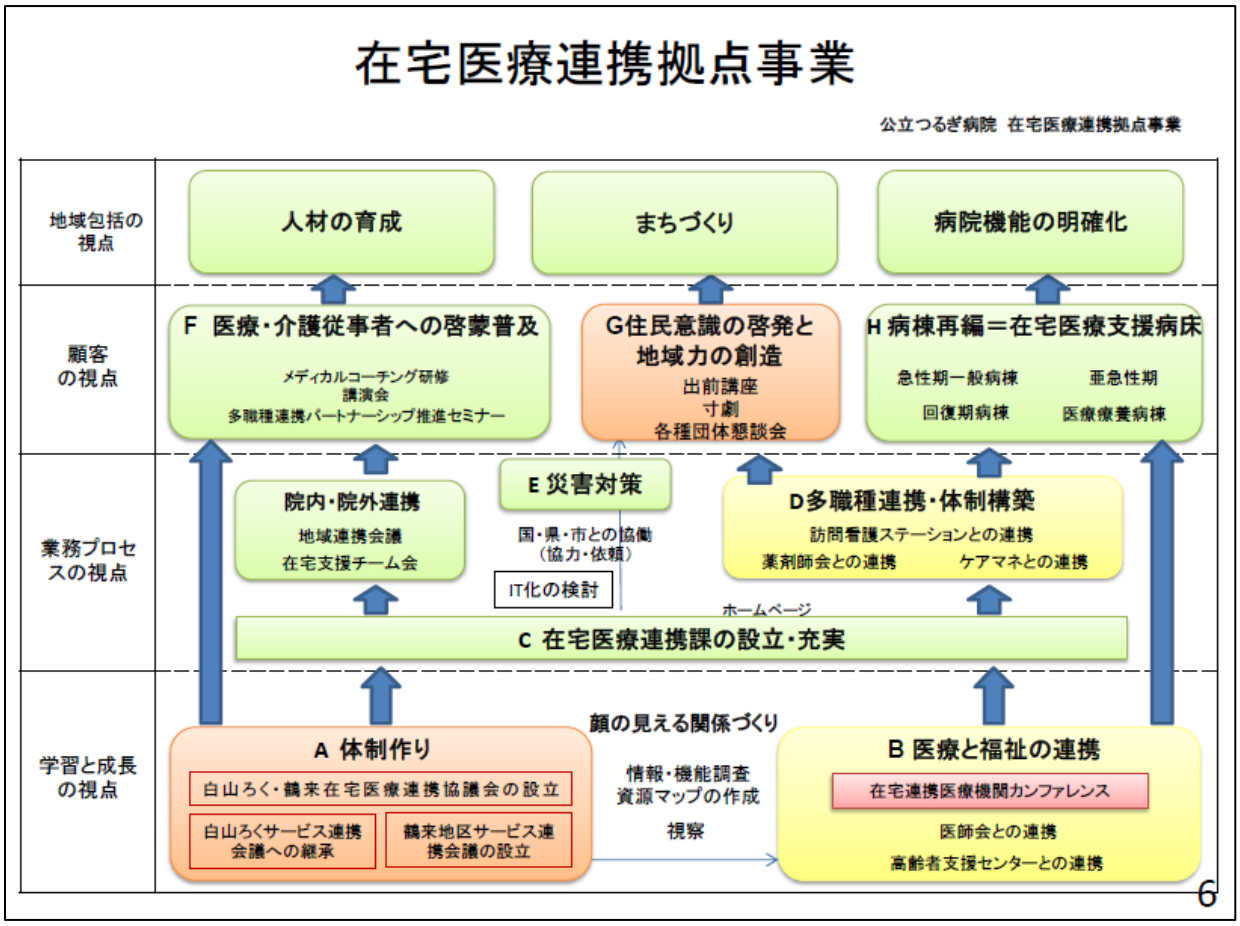
（参照）

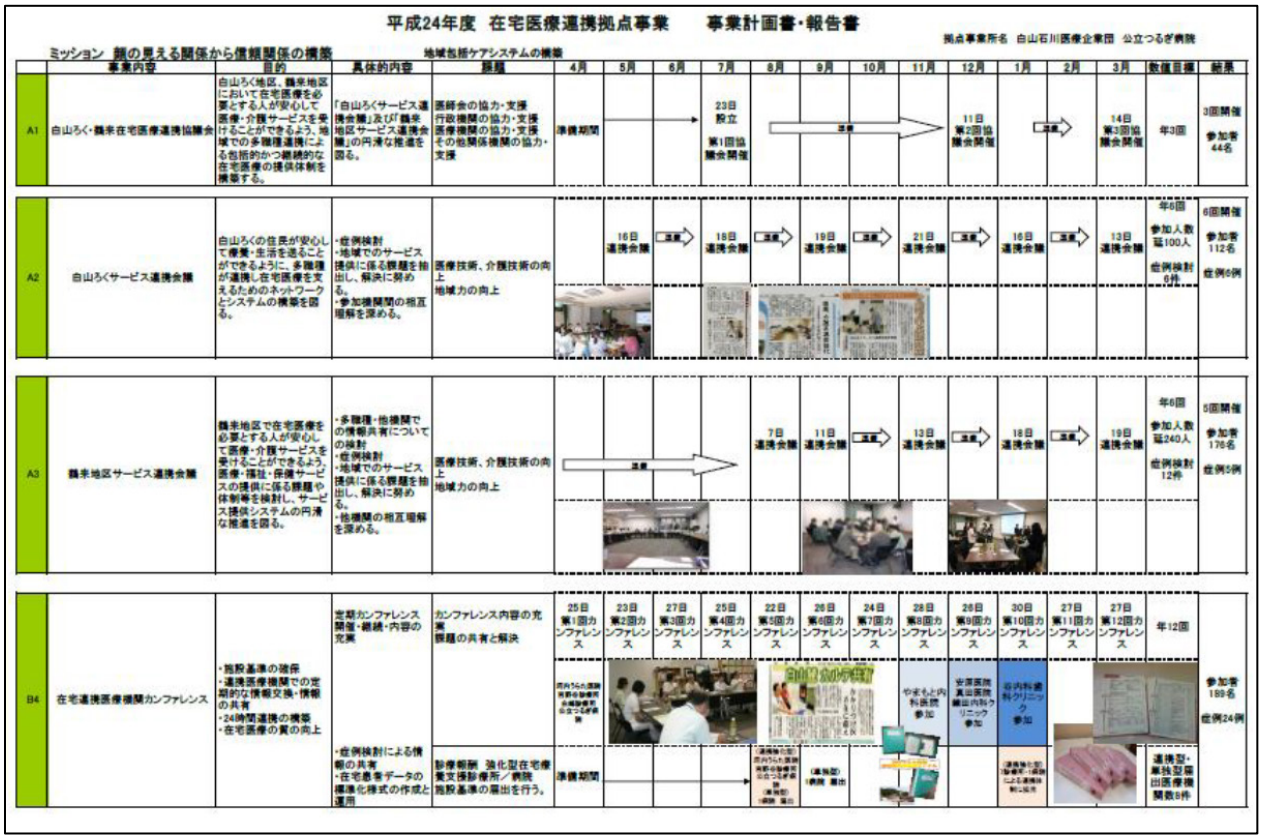
平成 25 年 10 月 22 日　平成 25 年度在宅医療・介護連携推進事業研修会資料

『客観評価を考慮した指標のモニタリング 』

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/jinzaiikusei/2013/kogi5_1022_oshima.pdf

例）石川県　公立つるぎ病院における事業計画　（図 40、図 41）



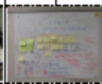


例）石川県　公立つるぎ病院における事業計画　（図 42、図 43）

平成24年度　在宅医療連携拠点事業　　事業計画書・報告書

拠点事業所名　白山石川医療企業団　公立つるぎ病院

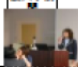
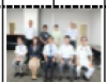
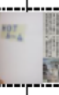
ミッション　顔の見える関係から信頼関係の構築　　地域包括ケアシステムの構築

	事業内容	目的	具体的内容	課題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	数値目標	結果
B5	国・県・市の支援、協力	在宅医療・介護あんしん2012	国・石川県・白山市の支援協力 石川県中央保健福祉センター	在宅医療拠点事業への協力依頼 市	支所訪問在宅の説明開始	1日 白山ろく健康推進室、鶴来支所	1日 14日 白峰支所 →	→	→	→	→	→	→	→	→	→	(訪問) 県 3回/年 支所8回/年	
				国				[illegible]			13日～14日 [illegible] リーダー研修							
				県					24日 県地域医療推進室訪問	県医療対策課 地域医療推進室 [illegible]	訪問				23日 地域リーダー研修会			
B6	白山市高齢者支援センターとの連携	医療・福祉・保健にまたがる様々な支援	白山市高齢者支援センター（地域包括支援センター）管理者等と拠点との定期ミーティングを行う	・地域の課題の抽出・解決策の検討 ・行政サイドからの情報提供 ・資源の有効活用	訪問開始	2日、22日		4日 定期ミーティング	8日 定期ミーティング 27日 行政・拠点・薬剤師会勉強会実施		9日 定期ミーティング	14日 定期ミーティング	26日 定期ミーティング	23日 定期ミーティング		5日 定期ミーティング	年10回	9回
					第一ステップ →					第二ステップ →				第三ステップ →				
													白山市					
				医療支援　栄養士							栄養士派遣							
				在宅連携委員会白山市部会との連携			[illegible]			28日参加			講演会参加				年3回以上	
				課題の抽出と解決	第一ステップ →			薬剤師との連携		施設連携								
B7	医師会との連携	医師会との協働 国・県・郡市	情報提供・協力	情報の共有化		18日 県医師会訪問	[illegible]						2012/12/1 白山ろく・鶴来医師会懇親会実施					
			多職種連携の協力依頼、在宅医療推進の協力依頼	在宅医療従事者の負担軽減	地区医師会員への訪問	協力依頼 白山市医師会協力依頼	訪問	医師会での報告（病院長） →	→	→	→	→	→	→	→	→	年12回	
D8	訪問看護ステーションとの連携	24時間体制・相互機能補完体制の構築と円滑な連携	システムの確立	白山ろく訪問看護ステーション		医療在宅ケア事業団訪問 6/4 →			医療在宅ケア事業団訪問 8/30 →	7日 運営委員会参加							年5回	6回
				白山鶴来訪問看護ステーション	26日	23日		10日 訪問、説明、協力依頼		14日 運営委員会参加	24日		12日		13日			
9	ケアマネジャーとの連携	協働・多職種連携の協力依頼 在宅医療推進の協力依頼	居宅介護事業所との連携 ＊CNH(ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ・訪問看護師・病院との意見交換)の「場」の設定	在宅医療従事者の負担軽減	在宅医療連携拠点事業の説明 →	ヒアリング →			9日 鶴来地区ケアマネへ説明	12日 CNH(＊) →		9日 CNH(＊)					年6回	3回
																		
10	薬剤師会との連携	多職種連携の協力依頼、在宅医療推進の協力依頼	在宅医療への参画 訪問薬剤師モデル作り	地域在宅支援薬局の設立支援	在宅医療連携拠点事業の説明 薬剤師訪問開始 →				27日 行政・拠点・薬剤師会勉強会実施					白山ろくサービス連携会議参加開始			年6回	2回
				医療的支援		→	→	→	→	→	→	研修会 →		研修会 →		研修会 →		

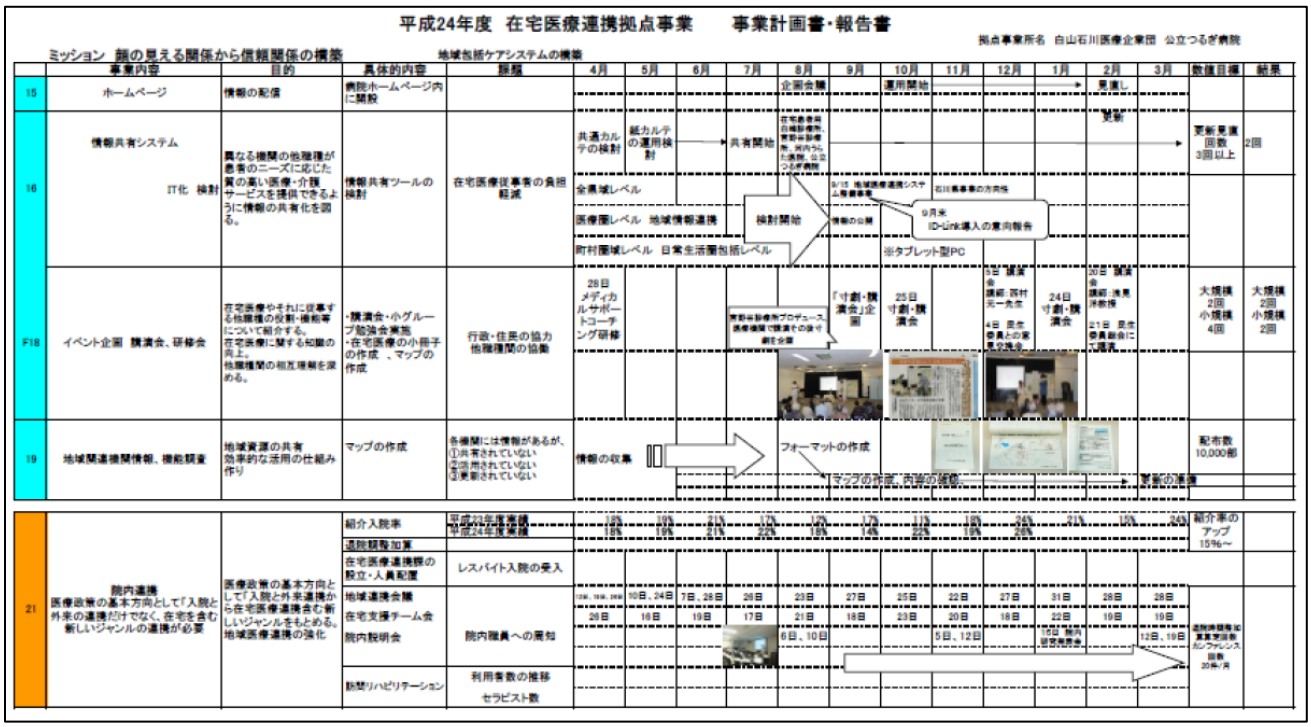
平成24年度　在宅医療連携拠点事業　　事業計画書・報告書

拠点事業所名　白山石川医療企業団　公立つるぎ病院

ミッション　顔の見える関係から信頼関係の構築　　地域包括ケアシステムの構築

	事業内容	目的	具体的内容	課題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	数値目標	結果
F11	人材育成 在宅医療・介護を担う人材の育成	専門的知識を活かし連携を深め、地域リーダーを育成する。	県立看護大学との連携	人材育成	28日 メディカルサポートコーチング研修		6日 看護大学訪問 → 		8日 第1回多職種連携パートナーシップ推進セミナー	5日 第2回多職種連携パートナーシップ推進セミナー	17日 第3回多職種連携パートナーシップ推進セミナー	7日 第4回多職種連携パートナーシップ推進セミナー	5日 講演会 講師 西村元一先生		20日 講演会 看護大学 浅見教授		セミナー 5回/年 延べ人数 150人	410名
		在宅医療の質の向上	専門技術の向上	医療的支援　認知症						出前講座	講演会講師派遣							
				医療的支援　糖尿病														
				医療的支援　褥瘡管理												褥瘡管理勉強会		
G12	地域力の創造	緩和ケア	緩和ケアの勉強会企画	医療的支援・研修会実施										鶴来地区サービス連携会議				
		地域での認知症等在宅に係る知識を高め、地域でケアする地域力の創造を図る。	イメージ図・オレンジ手帳、見守り・つながりノート等	地域資源の抽出 地域交流の「場」設定							25日 寸劇・講演会	16日 婦人部との意見交換会	4日 民生委員との意見交換会	24日 寸劇・講演会	21日 民生委員総会	小冊子の発行		
13	視察	先進地域の情報収集	先進事例の検証	在宅医療に対する知識のアップ			21日 福井県大野市視察 4名			30日 在宅医療推進ネットワークへの参加 7名			19日 国立長寿医療センター視察				年2回以上	2回
																		
E14	災害関連	災害発生時に備えた対応の検討	・地域における在宅患者の療養状況を把握する ・災害時のネットワーク体制の把握 ・必要な役割の把握	・災害訓練の参加・実施 ・地域の特性を把握 ・必要備品の選定 ・災害時の連携確認 ・病院食の確保		在宅酸素患者の調査	→	→	→	→	28日 院内大規模災害訓練 HOTステーションの設置	通所リハ利用者アンケート実施				発電機購入	訓練 1回 調査 1回	訓練 1回 調査 1回
																		
		在宅医療を必要とする人が安心してサービスを受けることができる体制作り		マニュアルの確認	契約事業所との契約内容確認・見直し					契約事業所への依頼								

例）石川県　公立つるぎ病院における事業計画　（図 44）



※　公立つるぎ病院では、地域包括ケアシステム構築に向け、拠点として様々な視点から取り組む課題を明確にし、具体的なアクションプランを立てて実行した。

４　今後に向けて

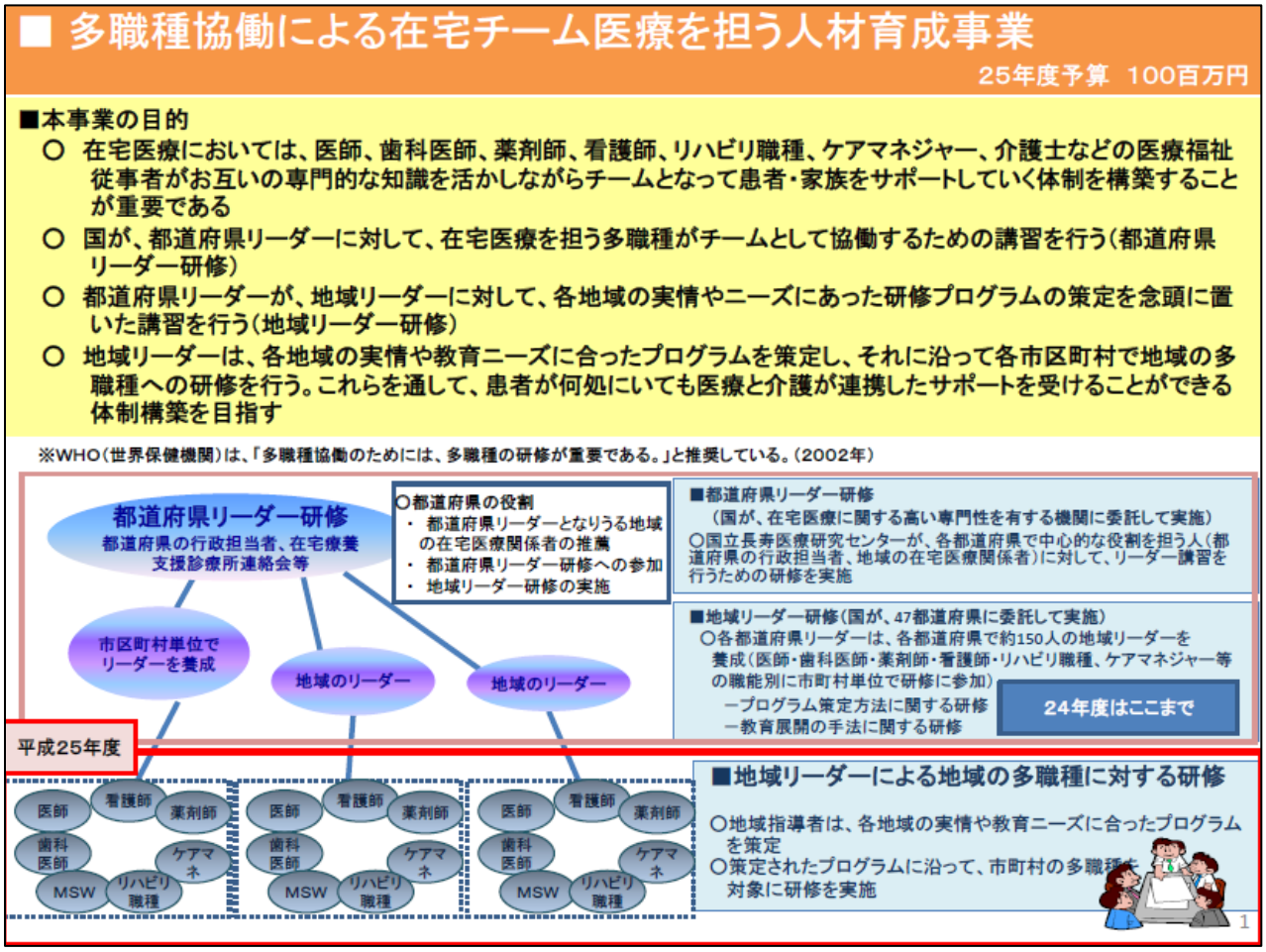
(1)　市町村事業のさらなる向上のために

○　在宅医療の推進については、各地の医療機関において先進的な取組みが進められてきたが、国の施策として「在宅医療連携拠点事業」が進められたのは、平成 23・24 年度のことである。市町村と地域医師会が中心となって面的な在宅医療・介護連携を推進する動きは、まだ定まった進め方が確立しているわけではなく、各地で多様な試みがなされているのが現状である。

○　各市町村において事業を進めていくに当たっては、先行地域における取組みの実情等を積極的に吸収し、それぞれの市町村の実情に合わせた検討の基礎とすることが必要である。

○　厚生労働省においては、平成 24 年度、(独)国立長寿医療研究センターに委託して実施した都道府県リーダー研修の成果を各地において展開することとしているので、これに基づく研修等が各都道府県で実施される場合には、積極的に参加すべきである。また、他の研修・セミナー等の機会を活用したり、各種資料の閲覧、視察を行う等により知見を広めたりして、それぞれの地域での在宅医療・介護連携推進体制の構築につなげていただきたい。

図 45


■ 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業
25年度予算 100百万円
■本事業の目的
○ 在宅医療においては、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種、ケアマネジャー、介護士などの医療福祉従事者がお互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって患者・家族をサポートしていく体制を構築することが重要である
○ 国が、都道府県リーダーに対して、在宅医療を担う多職種がチームとして協働するための講習を行う(都道府県リーダー研修)
○ 都道府県リーダーが、地域リーダーに対して、各地域の実情やニーズにあった研修プログラムの策定を念頭に置いた講習を行う(地域リーダー研修)
○ 地域リーダーは、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定し、それに沿って各市区町村で地域の多職種への研修を行う。これらを通して、患者が何処にいても医療と介護が連携したサポートを受けることができる体制構築を目指す
※WHO(世界保健機関)は、「多職種協働のためには、多職種の研修が重要である。」と推奨している。(2002年)
都道府県リーダー研修
都道府県の行政担当者、在宅療養支援診療所連絡会等
○都道府県の役割
・ 都道府県リーダーとなりうる地域の在宅医療関係者の推薦
・ 都道府県リーダー研修への参加
・ 地域リーダー研修の実施
■都道府県リーダー研修
(国が、在宅医療に関する高い専門性を有する機関に委託して実施)
○国立長寿医療研究センターが、各都道府県で中心的な役割を担う人(都道府県の行政担当者、地域の在宅医療関係者)に対して、リーダー講習を行うための研修を実施
市区町村単位でリーダーを養成
地域のリーダー
地域のリーダー
■地域リーダー研修(国が、47都道府県に委託して実施)
○各都道府県リーダーは、各都道府県で約150人の地域リーダーを養成(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・リハビリ職種、ケアマネジャー等の職能別に市町村単位で研修に参加)
ープログラム策定方法に関する研修
ー教育展開の手法に関する研修
24年度はここまで
平成25年度
医師
看護師
薬剤師
歯科医師
ケアマネ
MSW
リハビリ職種
■地域リーダーによる地域の多職種に対する研修
○地域指導者は、各地域の実情や教育ニーズに合ったプログラムを策定
○策定されたプログラムに沿って、市町村の多職種を対象に研修を実施
1

(2)　制度改正の動向

○　冒頭にもあるように、政府の「社会保障制度改革国民会議」は、平成 25 年 8 月 6 日に報告書をとりまとめた。

社会保障制度改革国民会議報告書
（概要）　http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo_gaiyou.pdf

（全文）　http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo.pdf

○　これを受けて、厚生労働省の関係審議会においては、介護保険事業あるいは医療提供体制の改革についての検討が進められているところである。今後の事業運営や将来設計においては、このような制度改革の動向が大きく影響することはいうまでもないことであるので、これら審議会の動向等にも十分注意しておくことが必要である。

厚生労働省　社会保障審議会
　医療部会
　http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126719

　介護保険部会
　http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126734

資料 1)　各市町村の取組みに関する図表等の出典一覧

図 1　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
津島市,P4.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/06055156.pdf

図 2　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　成果報告書添付資料,
肝属郡医師会立病院,P36.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/08102272_ppt.pdf

図 3　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
津島市,P5.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/06055156.pdf

図 4　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
熊本市,P6.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11096264.pdf

図 5　鹿児島県庁ホームページ(アクセス 2013 年 10 月 28 日)
http://www.pref.kagoshima.jp/ab02/soshiki/hoken/honcho/kaigo.html

図 6　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
横手市地域包括支援センター,P9.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/01012025.pdf

図 7　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
坂井地区広域連合,P7.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/05043117.pdf

図 8　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
日本医療伝道会,P12.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04034100.pdf

図 9-14　柏市保健福祉部福祉政策室(2013). 柏市における長寿社会のまちづくり～豊四季台プロジェクト～.

図 15　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
中部地区医師会,P7.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11104276.pdf

図 16　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
宗像医師会,P24.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/10090255.pdf

図 17　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
宗像医師会,P25.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/10090255.pdf

図 18　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
石巻市立開成仮診療所,P11.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/02008016.pdf
図 19-23　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　成果報告書添付資料,
オレンジホームケアクリニック,P11,12,14-16.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/04045119_ppt.pdf
図 24　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
柏市,P6.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04028061.pdf
図 25　国立長寿医療研究センター　在宅連携医療部ホームページ(アクセス 2013 年 11 月 26 日)
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/zaitakusien/byoto/1system.html
図 26　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
公立つるぎ病院,P16.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/05042116.pdf
図 27　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　成果報告書添付資料,
臼杵市医師会立コスモス病院,P5.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/08097266_ppt.pdf
図 28　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　成果報告書添付資料,
夕張市立診療所,P5.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/01003008_ppt.pdf
図 29-30　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
板橋区医師会,P31,P33.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04031081.pdf
図 31-32　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　成果報告書添付資料,
日田市医師会立訪問看護ステーション, P15,P23.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/08098267_ppt.pdf
図 33-34　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
鶴岡地区医師会,P15-P16.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/02014029.pdf
図 35　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
新見医師会まんさく,P6.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/08073214.pdf
図 36-図 37　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
板橋区医師会,P27,P36.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/04031081.pdf
図 38　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
熊本市,P27.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/11096264.pdf

図 39　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　地域ブロック活動発表会資料,
すさみ町,P22
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201301_02_block/07069207.pdf
図 40-44　厚生労働省委託事業　平成 24 年度在宅医療連携拠点事業　成果報告書添付資料,
公立つるぎ病院,P2-6.
http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/pdf/renkeikyoten/2013/201303_date/04042116_ppt.pdf
図 45　厚生労働省ホームページ, 在宅医療・介護の推進について,P17.(2013/10/30 アクセス)
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryou/zaitaku/dl/zaitakuiryou_all.pdf

資料２)　地域包括ケアシステム構築への取組みにおいて参考にされたい情報紹介

厚生労働省ホームページ　http://www.mhlw.go.jp/

〇在宅医療の推進について

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryou/zaitaku/index.html

〇地域包括ケアシステム

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/index.html

〇社会保障審議会　医療部会

http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126719

〇社会保障審議会　介護保険部会

http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008f07.html#shingi126734

〇「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」について

http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/05/s0521-11.html

〇市町村セミナー

http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihosho/seminar/01.html

首相官邸ホームページ　http://www.kantei.go.jp/

政策会議　http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/

〇社会保障制度改革国民会議

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/

公益社団法人　日本医師会ホームページ　http://www.med.or.jp/

〇第１回 日本医師会 在宅医リーダー研修会

http://www.med.or.jp/jma/nichii/zaitaku/001707.html

公益社団法人　日本看護協会ホームページ　http://www.nurse.or.jp/

東京大学高齢社会総合研究機構ホームページ　http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/kensyu/index.html

〇在宅医療推進のための地域における多職種研修会

http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/kensyu/index.html

厚生労働科学研究　がん対策 のための戦略研究

緩和ケア普及のための地域プロジェクトホームページ　http://gankanwa.umin.jp/index.html

(独)国立長寿医療研究センター　http://www.ncgg.go.jp/

老年学・社会科学研究センター　http://www.ncgg.go.jp/cgss/index.html

〇在宅医療推進会議

http://www.ncgg.go.jp/cgss/zaitaku.html

〇平成 24 年度在宅医療連携拠点事業－拠点の活動性の評価－

http://www.ncgg.go.jp/cgss/slider20130515.html

在宅連携医療部　http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/index.html

〇平成 24 年度多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業　資料

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/jinzaiikusei/2012/leader01_doc.html

〇平成 25 年度在宅医療・介護連携推進事業研修会　資料

http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/jinzaiikusei/2013/leader01_doc1022.html

在宅医療・介護連携のための市町村ハンドブック

発　行　日　：　平成25年12月

制　　作　：　独立行政法人
国立長寿医療研究センター
〒474-8511 愛知県大府市森岡町源吾35
TEL：（代表）0562-46-2311
http://www.ncgg.go.jp/index.html

※本ハンドブックは、厚生労働省委託の平成23、24年在宅医療連携拠点事業より得られた各種報告書等をもとに、有識者より指導助言を得たうえで当センターで取りまとめ、制作致しました。